

社協さつて市

みんなにやさしいまちづくり

第31回

幸手市健康福祉まつり開催!

2011年
11月5日
(土)



詳細は
6頁!

※写真は昨年の様子です。

場 所 幸手市保健福祉総合センター（ウェルス幸手）
 時 間 午前10時～午後3時
 主 催 社会福祉法人幸手市社会福祉協議会・幸手市

*この事業は、共同募金の
配分金を受けて実施しています。

目次

第31回健康福祉まつり開催!	表紙
会長就任挨拶および役員紹介	2 P
埼玉県共同募金幸手市支会からのお知らせ	3 P
平成23年度幸手市歳末福祉・慰問事業のお知らせ	4 P
寄付者報告（ありがとうございました）	5 P
第31回「健康福祉まつり」のご案内	6 P
幸手市障害者自立支援施設だより	7 P
幸手市ボランティア・市民活動センターだより	8・9 P
お知らせ・募集・掲示板・いきいきサロン紹介	裏表紙

発行
 社会福祉法人
 幸手市社会福祉協議会
 〒340-0152
 幸手市大字天神島1030番地1
 幸手市保健福祉総合センター内
 ☎43-3277 FAX40-1460
<http://www.satte-syakyo.or.jp>

会長就任あいさつ



(福)幸手市社会福祉協議会
会長 町田英夫

私は、この度の社会福祉協議会役員改選に伴い、理事の皆様方のご推挙とご賛同を賜りまして、会長という要職を拝命いたしました。

もとより微力ではございますが、これまでの経験を踏まえ、これからの幸手市社会福祉協議会の円滑な運営をとおして地域福祉の充実と発展のために、その職責を全うするよう努めてまいる所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今日、共働き家庭の増加や核家族化、少子高齢化、さらに人口減少が加わり、子育ての孤立化や一人暮らし又は高齢者のみの世帯が激増しております。

私は、このような状況である今こそ、地域でのお互いの助け合いや協力が必要であると考えます。社協は、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、住民主体による地域福祉の推進をめざして参りました。この地域福祉の推進には、地域の協力が必要であり、身近にある地域の福祉問題に目を向け、地域を繋ぐ役割として、ボランティア活動をしていただく市民の皆さまの存在が欠かせないものであると考えております。

幸手市では、幸いにも多くの方にボランティアとして活動していただいております。大変感謝しております。今後もより多くの方にボランティアとして活動していただけるよう社協として働きかけ、支援していきたいと考えております。

また、今後も、市民の皆様のご信頼と期待に応えるために、地域の福祉ニーズに常に耳を傾けるとともに、地域に密着した活動を展開できる幸手市社会福祉協議会を目指し、役職員一丸となって地域福祉の向上に努めて参りますので、皆様のご温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます、会長就任にあたってのご挨拶といたします。

社会福祉法人幸手市社会福祉協議会 役員紹介

役員は、住民代表、福祉専門機関代表、当事者代表、関連機関・団体などの分野から組織されます。

理事 15名 監事 2名 (任期 平成23年8月1日～平成25年7月31日まで)

会長	町田 英夫	理事	安達 彰彦	理事	小林千代子
副会長	落合 晃	"	家田 昭枝	"	中山 幸也
"	武藤 壽男	"	蘇原 通宏	"	増田由紀子
常務理事	大久保清一	"	田中 義勇	監事	大竹 敏夫
理事	石川 伸二	"	石井 澄江	"	中村 利子
"	池澤 明	"	堀中マツエ		

評議員 35名 (任期 平成22年7月1日～平成24年6月30日まで)

評議員	山口 次夫	評議員	早乙女鐵夫	評議員	大久保忠三
"	関口 勝三	"	石田 宏	"	新井 和博
"	木村 信隆	"	篠崎 禮子	"	能美 昌司
"	高橋 正美	"	張替伊三郎	"	大塚喜美子
"	長谷川成之	"	細川 壽江	"	小澤 詳吾
"	吉田 清	"	廣瀬 和子	"	宮澤 実
"	中村 淳男	"	澤村 光男	"	小松原孔明
"	関 政之	"	秋間 國夫	"	伊藤 浩和
"	大久保順一	"	荒木 英明	"	中村 孝子
"	関 進	"	白藤 芳子	"	酒井 雪夫
"	峯 静枝	"	佐藤キン子	"	大久保重雄
"	増田 重雄	"	増田 幹男		

埼玉県共同募金会幸手市支会からのお知らせ

10月1日から、赤い羽根共同募金が始まりました。

幸手市社協も埼玉県共同募金会に協力し、幸手市支会として募金活動を実施しております。集まった募金の約50%は、幸手市社協が行う事業に活用され、残りの募金は、県内の広域的な課題を解決するための活動に使われています。

明るく住みよい地域社会をつくるため、皆さまからの温かい思いやりとご支援をお待ちしております。

愛ちゃんと希望くん



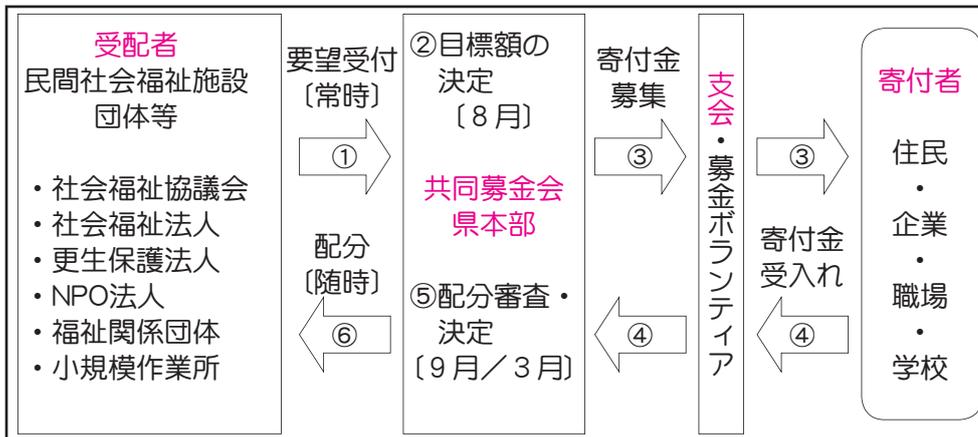
©中央共同募金会

Q. なぜ募金に目標額があるの？

A. 共同募金の趣旨は、自発的に寄付をお願いするものです。ただ、法律で計画的に募金することとされており、そのため、あらかじめ福祉施設や福祉団体等から要望を受け、それをもとに配分（支援）計画がたてられています。目標額を定めるのはこうした理由によるものです。

Q. 寄付金の流れは？

共同募金の受入れから配分まで



Q. 募金の種類は？

A. 募金の種類は、次の5種類です。

- 戸別募金…区長さん等の協力を得て、各ご家庭にご協力をお願いします。
- 法人募金…民生委員・児童委員さんの協力を得て、企業・法人等にご協力をお願いします。
- 街頭募金…駅、スーパー店頭で民生委員・児童委員さん等が募金へのご協力を呼び掛けます。
- 職域募金…市役所等の職員の皆さんにご協力をお願いします。
- 学校募金…小・中・高・大の学校を通じて、児童・生徒の皆さんにご協力をお願いします。

共同募金の寄付は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人からの寄付金は、所得税・住民税に係る寄付金控除の対象になり、株式会社等法人からの寄付金は、全額損金参加できます。



東日本大震災では、赤い羽根のもとにたくさんの義援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。市内の皆さんから寄せられた義援金総額 7,723,143円（8月31日現在）

運動期間

10月1日～12月31日

幸手市支会目標額
4,918,000円

寄付金付きグッズ

①図書カード [1,000円]
(内募金額 500円)



②クオカード [1,000円]
(内募金額 500円)



③募金バッジ

募金額 500円～



※寄付金付きグッズは、社協窓口にて取り扱っております。お気軽にお問い合わせください。

中央共同募金会
ホームページ

www.akaihane.or.jp

平成23年度 幸手市歳末福祉・慰問事業のお知らせ

毎年、歳末たすけあい募金運動を実施し、市民の皆様から、たくさんの温かい善意をお寄せいただいております。この善意を市内に居住するお困りの世帯の方々にお贈りいたします。

対象基準及び申請方法等は、以下のとおりとなりますので、援護金(品)を希望される方は、申請書の提出を、

10月3日（月）から10月31日（月）までに お願いいたします。

なお、期限後の受付は行うことが出来ませんので、期限内に提出をお願いいたします。

<対象の基準について>

次の基準の全てに該当する世帯で支援を必要とする世帯を対象とします。

- 1 市内在住である
- 2 世帯全員が市民税非課税世帯、もしくは市民税所得割非課税世帯（生活保護受給世帯は除く）

～援護金のほかに～

- ◎ 上記の対象世帯のうち、平成24年4月2日現在、18歳以下の子がいる母子・父子世帯および里親・里子世帯の方へ慰問品として、図書カードをお贈りいたします。
- ◎ 上記の対象世帯のうち、高齢者のみの世帯（65歳以上の高齢者）へ、大掃除サービス（照明器具・網戸・窓ガラス・換気扇等の清掃）をいたします。

「図書カード」「大掃除サービス」を希望される方についてはお申し出ください。

<申請方法について>

- * 申請用紙は、社会福祉協議会事務局、又は担当民生委員さん宅でお受け取りください。
 - * 下記①から③の書類を10月31日（月）までに、社会福祉協議会事務局または担当の民生委員さんまで提出をお願いいたします。押印は、シヤチハタ以外でお願いします。
- なお、②・③については、社会福祉協議会が調査の資料とするため、本人に代わり、「住民票」と「住民税決定証明書」を取得させていただくため必要となります。
- ① 「歳末援護金（品）申請書」（必要事項を記入・押印の上）
 - ② 住民票の交付を受けるための「代理人選任届」1通
 - ③ 住民税決定証明書を取得するための「代理人選任届」1通
- * 収入のある方にそれぞれ署名・押印していただきます。

<変更について>

申請内容について、申請後に変更が生じた場合は、すみやかに社会福祉協議会事務局または担当の民生委員さんまでご連絡ください。

◎援護金（品）については、歳末たすけあい配分委員会で対象者の決定を行います。

対象となられた世帯には、12月中に援護金（品）をお贈りいたします。

なお、援護金額につきましては、歳末たすけあい配分委員会で決定いたします。

◎申告がお済みでない「住民税決定証明書」は発行されない場合がございますので、ご注意願います。

◎取得した個人情報は、申請書類の内容調査を目的とすることでのみ取り扱い、それ以外では使用いたしません。

ありがとうございました

大勢の皆様からたくさんの心あたたまるご寄付をいただきまして、ありがとうございました。地域福祉の推進のために有効に使わせていただきます。今後ともなお一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

平成23年2月～平成23年8月（順不同・敬称略）

◎一般寄付

単位：円

幸手ライオンズクラブ	100,000	高橋 典子	10,000
㈱ベルク幸手南店	32,183	幸手さつき愛好会	10,240
㈱ベルク幸手北店	23,104	田村 貞夫	3,000
幸手キリスト教会	5,000	小室 良平	10,000
幸手市公民館クラブ連絡協議会	9,700	匿名2件	4,828
愛幸会（グラウンドゴルフの会）	5,000	◎物品寄付	
サンクラブ（グラウンドゴルフ愛好会）2件	9,770		
幸手市安全協議会	100,000	沢 明日香と参加者一同	車椅子5台
折原 仁市	20,000	幸手市子ども会育成連絡協議会	モノブロック・アルファ



幸手ライオンズクラブ様



沢 明日香と参加者一同様



幸手市子ども会育成連絡協議会様

今後どうぞ
よろしく願い
いたします。



不要になった入れ歯のご寄付にご協力ください

不要入れ歯は、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会を通じて、金属精製業者により、資源に生まれ変わります。その益金の40%を(財)日本ユニセフ協会に寄付し、同じく40%を本会の地域福祉活動推進のために役立てさせていただきます。市内に回収箱を設置しておりますので、ご協力をお願いいたします。

○設置箇所

- ①市役所1階 入口
- ②ウェルス幸手1階 社会福祉協議会事務局前
- ③老人福祉センター
- ④西公民館1階 入口

○回収の対象 → *金属の付いていない入れ歯は回収できません。

- ①金属の付いている入れ歯（歯にかけるバネ「クラスプ」が付いているもの）
- ②歯にかぶせた「クラウン」
- ③歯に詰めた「インレー」
- ④歯と歯をつないだ「ブリッジ」

○寄付の方法

- ①入れ歯の汚れを落とし、熱湯か入れ歯洗浄剤(除菌タイプ)で消毒をしてください。
- ②新聞広告等の厚手の紙で入れ歯を包み、ビニール袋に入れてください。
- ③回収ボックスに投入、または、封筒に入れて本会へ郵送してください。

(送付先 〒340-0152

幸手市大字天神島1030番地1 幸手市社会福祉協議会)



不要入れ歯回収ボックス

スタンプを集めると粗品がもらえるよ!



「健康福祉まつり」のご案内

今年で31回を迎える「健康福祉まつり」。社会福祉協議会が主催となり、たくさんの団体のご協力のもと、各種イベントを実施します。スタンプラリーをしながら「健康と福祉」について触れてみませんか？

《子ども用品とりかえっこ》

不用になった洋服やおもちゃなど集めて、必要な人に譲り、自分が欲しい物を貰うという企画です。回収日に品物を持参した方に参加券を配布し、参加券のある方が優先となります。

☆開催日時 11月5日(土)午前10時30分～午後1時

午前11時～参加券のない方も入場可

☆回収日 11月4日(金)午前10時～午後5時

☆開催・回収場所 ウェルス幸手 2階 研修室

☆回収物 新生児洋服(肌着は除く)、子供服、おもちゃ、ぬいぐるみ、靴、雑貨、ベビーカー(きれいな物)、おむつ(未開封のもの)

☆お願い すべてにおいて、洗濯をしてからお持ちください。新生児や子供が使用するものですので、汚れがひどい物はお返しすることがあります。ご了承ください。

スタッフ募集中!!

参加団体：子育てサロンくるり



《聴導犬デモンストレーション》

聴導犬についての講演とデモンストレーション

協力：NPO法人聴導犬普及協会

《環境コーナー》

活動紹介、ジオラマ、映像、映写会

参加団体：さって市民環境ネット

《朗読体験》

朗読劇、活動体験・紹介

参加団体：朗読V G幸手

《点字体験》

点字の体験、活動紹介

参加団体：点字あゆみの会

《お人形のダンス・紙芝居》

紙芝居及びリズム遊び、活動紹介

参加団体：人形劇クラブ幸手エイト

《障がい者施設の物品販売》

自主製品《皮製品・パン他》等の販売

参加団体：(1)幸手市障害者自立支援施設さくらの里 (2)幸手市障害者自立支援施設なのはなの里 (3)社会福祉法人和幸会 幸手学園 (4)社会福祉法人平野の里 あやめ寮 (5)地域活動支援センターMoko

《ボランティアグループ・子育てサロン等の活動紹介》

日頃の活動の様子をパネル等で紹介

参加団体：(1)幸手ボランティアグループ (2)幸手ふれあい電話の会 (3)精神保健福祉ボランティアさくら96 (4)サークル青空 (5)香日向ボランティアクラブ (6)幸手傾聴ボランティア「ピース」 (7)ボランティアグループ・幸手おもちゃの病院 (8)さって子育てサロン陽だまり (9)幸手市男女共同参画推進協議会 (10)幸手市民生委員・児童委員協議会

《福祉機器展示》

車イス、電動ベッド等の福祉機器の展示と説明

協力：(株)高橋医科器械店

《母子愛育会》

幼児身体計測、ふわふわボール販売等

協力：幸手市母子愛育会

《マッサージ奉仕治療》

視力障害者協会による10分間マッサージ

協力：幸手地区視力障害者協会

《エコおもちゃ作り》

牛乳パックを使ったおもちゃ作り



《健康食の試食》

健康食の試食・展示・お弁当販売

協力：食生活改善推進員協議会

《サウンドテーブルテニス体験》

障害者スポーツサウンドテーブルテニスの体験、活動紹介

協力：障害者サロン「レインボー」

《ガイドヘルプ体験》

アイマスク・白杖を使用し、点字ブロック等を歩く体験、活動紹介

参加団体：ガイドヘルプさって

《公演》

★ソーラン踊り

参加団体：ソーラン踊りさって 乱

★フラダンス

参加団体：フラ・ハイビス

★ちんどんパフォーマンス

参加団体：幸手商業高等学校演劇部

《講演会》

震災後のこころの変化とケア～こどものこころの支援について～

《健康に関するパネル展示》

むし歯予防の標語等の展示

《介護予防エクササイズ》

介護予防エクササイズ(からだ&若返り体操)の紹介・体験

《健康・栄養相談》

保健師などによる健康栄養相談



幸手市障害者自立支援施設だより

No.1

心身障害者デイケア施設から、障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス（生活介護・就労継続支援B型）へ移行して、半年が経ちました。

さくらの里(千塚)、なのはなの里(東3)の2施設は、多機能型の一つの施設として、それぞれの特性を活かし合いながら、利用者により良いサービスを提供していきたいと思います。

今回は、施設での利用者の活動の様子などをお知らせします。



さくらの里

さくらの里では、就労継続支援B型を提供しています。現在、16名の利用者が日中活動を行っています。

所外活動



利用者は、主に内職作業などの請負や自主製品作りに取り組んでいます。

また、映画や工場見学、収穫祭などの季節に応じた活動も楽しんでいます。

自主製品は、キーホルダー・財布・バッグなどのさまざまな革製品を作成しています。幸手市健康福祉まつりにて販売しますので、ぜひ見に来てください。

自主製品



革製品各種300円～



なのはなの里

なのはなの里では、生活介護・就労継続支援B型を提供しています。現在、生活介護10名、就労継続支援B型6名の利用者が日中活動を行っています。

ウクレレ



生活介護の利用者は、体操・マッサージ等で体を動かす他、読み聞かせ、製作・音楽活動等の余暇活動を中心に行い、就労継続支援B型の利用者は、内職作業などの請負や刺し子ふきんなどの自主製品作りに取り組んでいます。

また、ウクレレや季節に応じた行事などは全員一緒に楽しんでいます。

利用者と一緒に作業や余暇活動を楽しんでくださるボランティアの方を募集しています。

ぜひ、施設までお問い合わせください。(☎40-5106)

壁面制作



幸手市ボランティア・市民活動 センターだより

彩の国ボランティア体験プログラム事業特集

保育・学童保育室・児童館体験

子供関係施設での体験は、人気メニューのひとつです。子供が好きな方、将来保育士を目指す方など、大勢の方々に参加をいただきました。



第1保育所



てんじん保育園



トット保育園

介護老人福祉施設体験

事業を実施しました。ご協力いただき、ありがとうございました。



しらさぎ苑

みんなで作っていこう ボランティアの心



介護老人福祉施設体験は、小学生をはじめ、高校生・大学生や主婦の方など、幅広い年齢層の方々が体験に参加されました。利用者の方たちと一緒に歌をうたったり、おしゃべりをしたりして、楽しいひと時を過ごしました。皆さん、いつまでもお元気にお過ごしください。

心身障がい児・者の方とのふれあい体験

障害者自立支援施設で就労支援体験や、「サークル青空」のサマースクールに参加し、皆さんと楽しく1日を過ごしました。



児童館



学童保育室 たけのこ



桜楓苑



あすなるホーム幸手



ジャパンケア杉戸

地域ボランティア団体の活動体験

今年は市内の3団体の活動を体験しました。



配食サービス(調理)



人形劇



おもちゃドクター

点字 アイマスク・ガイド体験

視覚障がい者の文字である「点字」を書くための点訳作業や、ガイド法を体験しました。



点字体験



アイマスク・ガイド体験

ボランティア講座

挨拶や自分の名前などを伝える、手話の基本を学びました。



手話講座

福島県からの避難者について

幸手市では、東日本大震災で被害を受けた福島県の皆さまを、3月17日(木)に老人福祉センターに受け入れ、以後同施設は、避難所として運用していました。受け入れ当初、76名であった避難所利用者の皆さまは、徐々に福島県の仮設住宅や市町の借上げ住宅に転居され避難所を退所しており、9月4日時点で避難所は閉鎖となりました。避難所への物資・食事の提供や慰問訪問にご協力いただいた、企業、団体、個人ボランティアの皆さま、たいへんありがとうございました。被災地の皆さまには、1日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

お知らせ・募集・掲示板

問合せ先：幸手市社会福祉協議会
☎43-3277 FAX 40-1460

精神保健ボランティア養成講習会 受講者募集

精神の病気と障がいについて学びませんか？
今、4人に1人は精神の病気に掛かると言われています。精神の病気がって何？どんな障がいがあるの？何か手伝える事がある？
一緒に考えてみませんか。

▼対象者 幸手市及び近隣に在住で精神保健に関心のある方

▼日時 全4回(3回目は施設訪問)

①11月18日(金) 午後1時30分～3時30分

②11月22日(火) 午前10時～12時

③1日を選択【11月29日(火)・11月30日(水)・12月1日(木)・12月2日(金)】

午前9時～12時又は、午後1時～4時

④12月8日(木)午前10時～12時

▼場所 ウエルス幸手第1会議室他

▼参加費 300円

▼定員 20名(先着順)

▼申込み 11月4日(金)までに、幸手市社会福祉協議会に、電話または窓口でお申し込みください。

日常生活の中での悩みごと心配ごと等、1日でも早く解決出来るよう相談に応じます。

心配ごと相談

▼相談日 毎月第2・4木曜日

▼時間 午後1時～午後4時

▼場所 幸手市社会福祉協議会相談室

※予約は要りません。電話相談もお受けします。

幸手市地域支え合い事業 幸せ手伝い隊 利用会員募集

幸手市栄商店会協同組合では、埼玉県との地域支え合いの仕組み推進事業の補助金を受け、日常生活での身の回りの困りごとを有償ボランティアの方がお手伝いします。

▼利用できる方 幸手市栄地域及び周辺に居住する日常生活上援助を必要とする方

▼サービス内容

①日常生活サポート

買物代行、外出付添、話し相手、洗濯、部屋・窓ガラス掃除、電球・電池交換等

②ちよっぴりサポート

ゴミ出し、植木への水やり、郵便ポストからの回収、診察券入れ(町内)等

▼サービス提供時間 土・日・祝及び平日(年末年始を除く) 午前10時～午後6時

▼利用料(事前にチケットを購入します。)

①日常生活サポート 350円(30分毎)

②ちよっぴりサポート 700円(5回分)

▼問合せ先 幸せ手伝い隊事務局

幸手市栄3-12-1105

☎・FAX 48-17372 (小泉)

ボランティア相談

ボランティアを必要としている方、活動に参加したい方の相談をお受けいたします。

▼相談日 月曜日～金曜日

▼時間 午前8時30分～午後5時

▼場所 ボランティア・市民活動センター

※電話相談もお受けします(社協内)

今回の社協さって市の発行は12月1日となります。

社協では、ふれあい・いきいきサロンへの助成をしています。7月1日現在、19サロンに助成しており、その中の1つを紹介します。

体操クラブ65は、平成20年5月に発足し、現在38名の方が参加しています。

毎週金曜日に体操で汗をかき、月に1回体操後におしゃべりとティータイムを楽しんでいます。

普段でも姿勢が良くなり、参加していて張り合いも出、楽しみが増えたようです。

【体操クラブ65】情報

○内容 体操

○対象者 緑台地区の高齢者

○開催日時 毎週金曜日(除祝日)

午後1時15分～2時45分

午後2時45分～3時45分(第3金曜日のみ)

ティータイム

○開催場所 東武団地自治会館

ふれあい・いきいきサロン紹介 体操クラブ65



写真は、ハンドマッサージをしているところです。